

法政大学人間環境学部キャリアチャレンジ2018年度I期  
追加募集（国内Aコース、Bコース、Cコース）

キャリアチャレンジ2018年度I期の国内Aコース、Bコース、Cコースについて、下記のとおり追加募集を行います。

1. 各コースの概要

(1) 国内Aコース

「川崎市中原区武蔵小杉における都市のサステナビリティとコミュニティ政策研修」  
(担当：小島)

①目的

2017年3月に締結された法政大学と川崎市の中原区武蔵小杉駅周辺地域のまちづくりに関する交流・連携協定に基づいて、持続可能な都市を模索する域学連携事業の一環として実施します。

超高層マンション群の建設で人口が急増し、メディアでもたびたび報道され、全国的にも注目を浴びる武蔵小杉駅周辺地域には、同時に都市の持続可能性に関する多様な課題があり、中長期的な視点で都市政策を展開する必要があります。そこで、法政大学附属二中校も立地し法政大学との縁が深い同地域のコミュニティ政策について、川崎市中原区役所地域振興課の公務研修生として取り組みます。

2018年度は、2040年における武蔵小杉の望ましい姿を描いた「コスギ・コミュニティビジョン2040」の実現に向けて、同ビジョンが掲げるライフ&ヘルス・コミュニティに関わる地域の多様な健康づくり資源の調査発掘・取材、関連イベント等への参加と運営補助・取材、まちづくり提案をミッションとします。食・スポーツ・生きがいなど幅広い内容を含む健康をテーマとして、「コスギ・コミュニティ2040」の推進にコミットし、研修の成果もまちづくりに活用する予定です。さらに、区役所以外にも地域のいくつかの団体や地元のメディアと連携します。取材のトレーニングも受け、実際に取材した内容は報道に使う可能性もあります。

②受け入れ団体

川崎市中原区役所

③対象学生と追加募集人数

2年生以上で1~2名を追加募集します。

※全てのコースの学生に推奨します。特に、自治体職員や公的団体への就職を志望する学生、メディアへの就職を志望する学生、健康・スポーツ関連企業などへの就職を志望する学生に推奨します。

④行程

8日間（+任意参加のオプション研修1日） ※全行程日帰りです。

- ・9月3日（月）～4日（火）、9月6日（木）～7日（金）
- ・9月9日（日）※オプション研修のため任意参加
- ・9月11日（火）、9月12日（水）、9月14日（金）、9月15日（土）

## ⑤費用

自宅から現地（JR 及び東急の武蔵小杉駅）までの交通費と昼食費です。

## （２）国内Bコース

### 「山梨県小菅村におけるサステイナブルな山村づくり研修」（担当：小島）

#### ①目的

2017年3月に締結された法政大学と山梨県小菅村の交流・連携協定に基づいて、多摩川源流地域の山村における持続可能な地域社会の可能性を模索する域学連携事業の一環として実施します。

都市生活者である学生が、村人（むらびと）生活というライフキャリアにおける貴重な経験を送りながら、行政、NPO、観光ビジネスという3つの領域で研修に取り組むことで、人間的成長の機会とします。

小菅村は、様々なチャレンジを展開していることで有名です。従来からの、イワナやヤマメなど川魚の養殖、こんにゃくやわさび栽培、村営温泉、道の駅、アドベンチャー施設の建設に加えて、地ビールとジビエ料理など新たな食の魅力の開発、住民も参加する観光地経営（ディスティネーション・マネジメント）にも取り組んでいます。

人口740の山村ですが、定住人口の維持とともに、観光などを通じた交流人口（3分の1村民）と、むらづくりにかかわる関係人口（2分の1村民）を増やし、多摩川源流域の環境・文化の保全と地域経済の振興の両立を図っています。

これまでのチャレンジにより、毎年、環境体験学習で多くの子ども達が訪れ、近年は山村留学のための家族連れの新住者も増えています。そして、法政大学を含む東京の複数の大学の学生も学びに訪れ、地域起こし協力隊により新たな人材も集まっています。

2018年度は、2017年度をふまえて、木材の地産地消と移住者・来訪者の受け皿となるタイニーハウス（小さな家）やリノベーションしたコミュニティ施設の活用など、新しいチャレンジも体感しながら、他方で、伝統的な集落の祭にも参加します。限られた期間ですが、サステイナブル小菅へのむらづくりにコミットすることをミッションとします。

#### ②受け入れ団体等

- 1) 受け入れ団体：山梨県小菅村
- 2) 協力団体：株式会社“源”、特定非営利活動法人多摩源流こすげ

#### ③対象学生と追加募集人数

2年生以上で、2～3名を追加募集します

※むらびと経験は全てのコースの学生に推奨します。

#### ④行程

7泊8日 ※研修期間中は、全日、小菅村に滞在することが前提です。

・8月28日（火）～9月4日（火）

※今後、1日短縮し9月3日（月）までの6泊7日に変更になることもあります。

#### ⑤参加費用

自宅から現地までの交通費（JR 中央線大月駅から路線バス）のほか、自炊費用（1万円程度）+村内生活費の合計で2万円程度の予定です（ゲストハウスとして活用している古民家に無料で宿泊します）。

### (3) 国内Cコース

「千葉県香取市佐原のシビックプライドのまちづくりとサステイナブル・ツーリズム研修」

(担当：小島)

#### ①目的

千葉県香取市佐原地区は、歴史・文化・景観・自治・観光といった観点から都市のサステイナビリティを考えるには最高のまちといっても過言ではありません。

歴史的町並み保全（関東で初めての重要伝統的建造物群保存地区、日本遺産）、大祭（重要無形民俗文化財・国宝・ユネスコ無形文化遺産）、江戸時代に日本地図を作成し、「地域社会が豊かであれば人は豊かになれる」という信念で地域経営の礎を築いた伊能忠敬（2018年は没後200年）などは全国的にも有名です。江戸時代から200年以上、まちづくりを続けた佐原は、まさに都市のサステイナビリティを学ぶフィールドとしても最適です。

江戸との水運で結ばれ、「水郷のまち」として発展しながら、自らの都市文化を「江戸優り」と表現するシビックプライドを育ててきた佐原は、東日本大震災を乗り越え、歴史と伝統文化を活かしながらも、洗練されたレストランの集積などの店舗開発、町屋を活用したホテルによる宿泊拠点の整備など、創造的で革新的なまちづくりの営みを持続させ、近年では、サステイナブル・ツーリズムによって、首都圏からの観光客、海外からのインバウンド客が増加しています。

そこで、江戸東京学を進める法政大学の一学部である人間環境学部はNPOとの域学連携事業として、2017年度から協働で、地域公共人材の養成を兼ねて学生向け研修プログラムの開発に取り組み始めました。2018年度は、来訪者向けにリノベーションした歴史的町並みに近い町家にモニターとして宿泊することにより地域生活を体感しながら、アカデミックな視点でまちづくりを進め、出版活動も行っているNPOの研修スタッフとして、各種業務体験、関係者や関係団体への調査・取材、地元の「おかみさん会」によるイベントの運営補助などに取り組みます。シビックプライドのまちづくりとサステイナブル・ツーリズムにコミットしながら地域経営のセンスと主体性を養うことがミッションです。

#### ②受け入れ団体

特定非営利活動法人佐原アカデミア

#### ③対象学生と追加募集人数

2年生以上で1~2名を追加募集します。※ローカルサステイナビリティ・コース以外にも、サステイナブル経済経営コース、人間文化コースの学生に推奨します。また佐原は成田空港に近く、グローバル化の時代におけるインバウンド需要にも対応する取り組みを進めていますので、グローバルサステイナビリティ・コースの学生にも推奨できます。

#### ④行程

8日間（日帰り1日+1泊2日+4泊5日）

- ・8月7日（火）※日帰り
- ・8月9日（木）～10日（金）1泊2日
- ・8月13日（月）～17日（金）4泊5日

#### ⑤費用

自宅から現地（JR成田線佐原駅）までの交通費のほか、5日間の宿泊費・食費で1万5000円程度（町家宿泊費は1泊1000円）と研修費3000円程度の予定です。

## 2. 追加募集スケジュール

### (1) 追加募集期間：5月28日(月)～6月8日(金)17:00

レポート形式の志望調査票（1000～1200字程度、最大1500字）を、学部HPから入手するか、58年館1階の人間環境学部の窓口で受け取り、同窓口の専用ポストに提出して下さい（9:00～17:00）。

※原則として前記の時間帯に提出し、やむをえない理由で17:00以降に提出せざるをえない場合は、担当教員（小島）に連絡し、追加募集期間内に、直接、提出して下さい。

※追加募集は募集枠も少なくなっていますので、応募前に担当教員への事前相談することを推奨します。

### (2) 追加募集人数

各コースの説明に記載しましたが、確認のため以下に整理します。

- ①国内Aコース（川崎市中原区）：2年生以上1～2名
- ②国内Bコース（山梨県小菅村）：2年生以上2～3名
- ③国内Cコース（千葉県香取市佐原地区）：2年生以上1～2名

※かりに追加募集への応募者が上記の人数を超えた場合は、受け入れ先との協議の上で最終的に人数を決定します。

### (3) 面接による選考

志望調査票に基づいて書類審査（第1次）と面接審査（第2次）を行います。選考結果等は、BT24階キャリアチャレンジ専用掲示板または小島掲示板で、6月12日（火）に確認して下さい。

### (4) 事前研修：7月上旬～8月上旬

事前研修の日時と場所については、参加決定者にメールで連絡し、さらにBT24階のキャリアチャレンジ専用掲示板または小島掲示板でお知らせします。

### (5) 現地研修及び事後研修

コースごとに現地研修を行い、担当教員が巡回して視察します。また秋学期開始後に事後研修を行います。

※研修生はインターンシップ保険に加入します（学生がキャリアセンターで手続きを行います、費用は大学が負担します）。

## 3. 注意事項

キャリアチャレンジは、法政大学人間環境学部と受け入れ団体の覚書により実施される社会連携科目であり、双方の信頼関係によって成り立っています。したがって、参加学生は、人間環境学部生としての責任と、域学連携の架け橋になるというミッションを自覚し、現地の諸団体や住民のみなさんと積極的に交流しながら地域に貢献する姿勢で、誠実に研修に取り組むことがもとめられます。

以上のことから、参加が決定した後は、体調不良などやむをえない理由がないかぎり、原則としてキャンセルはできません。誓約書を提出してもらうこともあります。

## 4. 事前相談・問い合わせ先

追加募集の事前相談、この科目と各コースの問い合わせについては、担当教員の小島（[skojima@hosei.ac.jp](mailto:skojima@hosei.ac.jp)）までメールでお願いします（必要に応じて面談します）。